

日比谷カレッジ Hibiva College

「創業100周年『岩波書店』という多面体」
 —その核心にあるもの—

■ 講師 小島潔 (岩波書店 取締役)

創業者・岩波茂雄の生き方を追いつながら、時代と共に変化しつつもその理念を貫いてきた出版社の歩みを語っていただきます。岩波文庫発刊の辞「読書子に寄す」のこと、児童書の基礎を作った石井桃子等名編集者のこと等、本という文化を支え続けてきた出版社ならではの熱い思いに圧倒。岩波新書創刊時の一冊、「世界」創刊号の資料等も回覧し、貴重な文化に触れる時間でした。

■ 出版社を知るシリーズとは？
 出版社の方々がどんな思いで本を作られ、歴史を築いてきたか、その未来とは？を出版社の方に直接語っていただく企画です。第1回は4月、創業100周年のダイヤモンド社。



海外の絵本『ちいさなおうち』を日本の家庭に普及させるためにさまざまに工夫した話も。

ZONE pick up!

2階 パープルゾーン <江戸・東京>の本を集めた図書フロア

<メイン展示>『エドノミクス 江戸経済事情』

江戸時代の経済や貨幣についての本を紹介するコーナー、その名も『エドノミクス』。江戸時代のガイドブック的存在『江戸買物独案内(えどかいものひとりあんない)』の見方を解説したり、江戸のショッピングエリアの紹介図も展示しています。金貨一両の価値、江戸のリサイクル事情、下級武士の内職、オランダからの輸入品リストなどを眺めていると、江戸っ子の金銭感覚が見えてくるはず。時代小説をもっと楽しむ副読本としてもご利用ください。

■ 常設展示『日比谷図書館の歴史』『太田道灌コーナー』
 ■ 特別展関連『鎌倉と江戸-中世と近世の武士-』(三角台)



▲江戸時代のお金にまつわる資料がいっぱい。

11月の展示情報

- 2F オレンジゾーン 「消費×物流 2014～モノの流れの明日を読む～」(11月中旬～)
 「国際物流ハブ」「TPP(環太平洋パートナーシップ)協定」「フェアトレード」「フードデザート」など国際的な課題と地域的な課題が交差する物流と消費のこれからについて考えます。
 ■「UPDATE -ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ帳-」
 ■常設展示▶「アメリカンシェルブ」
- 2F ホール <講座関連>開館2周年記念文学講演会「シェイクスピアの人間学」
 講師・小島雄志氏が翻訳されたシェイクスピアの戯曲全点とエッセイを集めました。
- 3F グリーンゾーン <メイン展示>「ものづくりからfabricationの時代へ！」
 3Dプリンターなどデジタル工作機器の小型化や低価格化が進み、「ものづくり」の現場が根本から変わろうとしています。今と昔とを対比する資料を集め、ものづくりの未来を読み解きます。
 ■講座関連▶「グリーン・イノベーション～環境と持続可能な社会の実現に向けて～」
- 3F ブルーゾーン 「ことば典の世界」
 言葉はどれも同じではなく、辞書によって言葉の選び方や解釈もさまざまです。辞書、辞典の個性を読み比べてみませんか。辞書編集に携わる人々の著書も展示しています。

「わたしの一冊」
 ◆当館スタッフの推薦本を紹介します。

おすすめする人 安藤忠雄著 『建築に夢をみた』

おすすめる人 図書フロア 小野口史恵

昭和中期より、合理的に多くの住居を提供するため、日照時間の長い南向き平行配置の集合住宅が街の風景として定着しました。朝日が好きな人もいれば、西日が好きな人もいます。また、暗い場所を好む人だっている。この本では住環境はさまざまであって良いことと、合理性では括り得ない部分に都市の文化が育まれることと伝えています。建築にとどまらず、物事を考える上で必要なことにも通じる、著者の考え方にあらためて視野を広げてもらいました。

2002年刊 日本放送出版協会
 2000年4～6月放送のNHK「人間講座」テキストを再編集した本。世界的建築家、安藤忠雄が独自のスタイルを築いていった創造の過程をわかりやすく語っています。国内外の安藤建築ガイド付き。

サービス・ニュース 本の返却についてのご案内

※お願い: 当館で他の自治体から取り寄せた資料は「2階 図書カウンター」にご返却ください。

Service & News

①2階 図書総合カウンター 開館している時	②返却BOX 開館している時	③ブックポスト 閉館している時
-----------------------	----------------	-----------------

区内所蔵のすべての貸出資料を返却できます
 ■ 場所: 2階 図書フロア

当館1階でも本を返却できます
 ■ 場所: 1階 コンシェルジュ 横

夜間、休館日も返却できます
 ■ 場所: 当館の裏手(国会通り側)

千代田区立図書館所蔵のすべての資料(本、CD、DVD、ビデオなど)をご返却できます。

「返却BOX」には図書資料(本、雑誌)を入れてください。視聴覚資料(CD、DVD、ビデオ)は壊れやすいので、「2階 図書総合カウンター」にご返却をお願いします。

千代田区立図書館所蔵の図書資料(本、雑誌)をご返却できます。視聴覚資料(CD、DVD、ビデオ)は、開館時に「2階 図書総合カウンター」にご返却ください。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

鎌倉と江戸

◆平成25年度文化財特別展◆

鎌倉と江戸は、東日本におかれた幕府の政権所在地でした。しかし、御家人の力が強かった鎌倉時代と、幕府が大きな力を持っていた江戸時代では、武士の考え方は大きく異なります。今回は、御家人や大名・旗本に関する資料や、政権都市整備などを示す鎌倉と千代田区内で出土した遺物などを展示し、中世と近世の武士がどのような考えを持っていったのか紹介します。

会期
 10月26日(土)
 12月8日(日)
 休館日
 11月18日(月)
 開室時間
 (月)～(土) 10:00～18:00
 (日・祝) 10:00～17:00
 観覧料 無料

「木札」(北条小町邸出土) 鎌倉市教育委員会蔵

「丸の内一丁目遺跡出土瓦」(左)
 「伝秋田藩上屋敷跡出土瓦」(右) 千代田区教育委員会蔵

「源頼朝袖判下文」
 建久三年九月十二日 神奈川県立歴史博物館蔵 (複製を展示します)

中世と近世の武士

講演会

11/9 (土) 「江戸の城づくりと都市整備」
 講師: 谷川 章雄 (早稲田大学人間科学学術院教授)

11/16 (土) 「政権都市・鎌倉の都市づくり」
 講師: 高橋 慎一朗 (東京大学史料編纂所准教授)

いずれも
 ■ 時間: 13:30～15:30
 ■ 定員: 60名 ■ 受講料: 各回200円
 ■ 場所: 日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス(小ホール)

■ 申込・お問い合せ先: 電話、Eメールのいずれかにて人数、氏名、ご住所、電話番号を明記の上、お申込みください。定員に達し次第受付終了いたします。
 【日比谷図書文化館文化財事務局】 ■ 電話: 03-3502-3348 (月～金 8:30～17:00) ■ Eメール: rekimin@vesta.ocn.ne.jp

calendar 開館時間: 平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時、休館日

2013年 11月							2013年 12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

■ お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access
 東京メトロ
 ●千代田線
 ●日比谷線
 ●丸の内線
 「霞ヶ関」徒歩5分
 JR「新橋」徒歩10分
 都営地下鉄
 ●三田線
 ●内幸町 徒歩3分

駐車場
 当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

11・12月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/2 (土) 古書で紐解く近現代史セミナー 第3回 『国史大辞典を予約した人々』

―百年の星霜を経た本をめぐる物語―

講師：佐滝 剛弘 (リベラルアーツ・ジャーナリスト)

明治末期、近代日本を切り拓かんとした人々がこぞって予約した本がありました。それは1908年に吉川弘文館刊行の『国史大辞典』。偶然、その「予約者芳名録」を発見した講演者が、芳名録に記された百年前の人々の歴史を調査してきたお話しと、著作に至った経緯を語ります。



- 日時：11月2日(土) 14:00～16:00(13:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名
- 参加費：500円(千代田区民無料)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/6 (水) ほか 日比谷サステナブルビジネスプロジェクト 「サステナブルビジネスへの道しるべ」

今や、「サステナビリティ」は地球環境の領域でも、ビジネス界でも急速に重要性を増しています。日々のビジネスの現場でこれらの問題に向き合うヒントや指針を提供します。第1回目は、未来予測を環境科学の観点から俯瞰し、持続可能性への道しるべを議論します。第2回目は、グリーン経済に向けてビジネスはどう変化する必要があるか？ 実例を交えながら考えます。

- 第1回11月6日(水)「地球の破綻」～解決への道筋を考える
講師：安井 至(東京大学名誉教授、国連大学元副学長)
※第1回では、課題図書『地球の破綻』(講師著、日本規格協会、2012年)や、課題チャレンジもあります。詳細はHP、チラシをご覧ください。
- 第2回11月21日(木)グリーン経済へのチェンジ・メーカーの条件
講師：広石 拓司(株式会社エンパブリック代表取締役)
- 時間：いずれも19:00～21:15(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：各回40名 ■ 参加費：全2回 3800円(各回1回のみ参加は2000円)

11/12 (火) ほか 日比谷オペラ塾「作曲家でたどるオペラのあゆみ(前期)」(全6回) 第2回 オペラの改革者<グルック/ハイドン>

講師：岩下 真好 (慶應義塾大学教授)

時代を代表するオペラ作曲家にスポットを当てながら、作品と作曲家について理解を深める、全6回の連続講演会。第2回はオペラの改革者とされるグルックとハイドンについてお話いただきます。初心者にも、オペラ愛好家にもご満足いただける内容です。(主催：フェニーチェ劇場友の会)

- 日時：11月12日(火) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：6000円(全回分)、各回1500円
- <第3・4・5・6回予告>
- 12月13日(金)オペラの天才<モーツァルト> 堀内 修(音楽評論家)
- 1月23日(木)オペラの醍醐味<ロッシーニ>
水谷 彰良(日本ロッシーニ協会会長・オペラ研究者)
- 2月20日(木)ベルカント・オペラの旗手<ドニゼッティ> 吉田 光司(音楽評論家)
- 3月11日(火)革命的オペラ作家(ワーグナー) 船木 篤也(音楽評論家)

12/13 (金) 千代田区・米国外使館 第2回アメリカン・シェルフ講演会 「アメリカの公共図書館におけるトレンド分析とマーケティング」

講師：アルカ・パトゥナガー(米国外使館広報・文化交流部情報資料担当)

トレンド分析の専門家としてニュージャージー州立図書館で勤務したほか、ビジネス、サイエンス、キャリア支援の専門家として大学、公共図書館で30年近く勤務した講師がユーザー中心のナレッジ・マネジメントのプロとしてアメリカの公共図書館の様々な取り組みについて講演します。(逐次通訳付き)



- 日時：12月13日(金) 19時～20時30分(18時30分より受付)
- 会場：日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：無料

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/14 (木) 国会議事堂―夢と建設のものがたり―

講師：瀬川 昌彌 (NPO法人「建築から社会に貢献する会」副理事長)

明治維新後、近代化の象徴として国会の建設が望まれましたが、その建設には汗と苦勞の物語があります。現在に至るまでの歴史についての講義の後、国権の最高機関を見学します。

(主催：NPO法人「建築から社会に貢献する会」)

- 日時：11月14日(木) 10:00～11:30(9:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：40名 ■ 参加費：1000円 ■ 申込期限：11月7日(木)まで
- ※国会議事堂見学には名前・性別・年齢・住所・当日連絡できる電話番号の事前届け出が必要のため、お申し込み時にお知らせください。いただいた個人情報は見学目的以外には使用致しません。

11/15 (金) 開館2周年記念 文学講演会「シェイクスピアの人間学」

講師：小田島 雄志 (英文学者・演劇評論家)

シェイクスピアの戯曲に一貫して流れる人生観(人生には幸福もあれば不幸もある)や人間観(人間には表＝見せかけもあれば裏＝真実もある)は古今東西、誰にでも当てはまる真理です。台詞を紹介しながら、世界中で愛され続けるシェイクスピアの魅力を語っていただきます。



- 日時：11月15日(金) 19:00～20:45(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/15 (金) 千代田区民講座 都内に残る酒造元 先祖伝承の日記帳に学ぶ

講師：石川 太郎 (石川酒造株式会社 代表取締役社長)

江戸時代には庭場という近隣の共同社会の長として、幕府直轄領熊川村の名主として、将軍家への鮎の献上や朝鮮通信使の饗応といった御用を勤めていた石川家。代々の当主が250年という長きに亘り日記を綴っており、当時の出来事の記録や、時代の流れを学ぶことができます。現18代当主の石川太郎氏にお話をうかがいます。(主催：NPO法人 神田雑学大学)

- 日時：11月15日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料

11/16 (土) 東京宝塚劇場開場80周年カウントダウンイベントⅢ 日比谷における宝塚文化

～映像と写真から探る1930年代のヒビヤ・モダン

講師：鈴木 国男 (共立女子大学文芸学部教授)ほか

関西発祥の宝塚歌劇が、東京のモダン文化を担う日比谷に進出してきたということは、いったいどのようなできごとだったのでしょうか。復元された昭和初期の個人フィルムや共同研究者の様々な視点をもとに、日比谷における宝塚の歴史と文化的意義を振り返ります。(共立女子大学千代田学事業)

- 日時：11月16日(土) 15:00～18:00(14:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名
- 参加費：500円(千代田区民無料)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

コンシェルジュより The Anniversary

日比谷図書文化館は11月4日(月)に開館2周年を迎えます。また、9月27日(金)には来館者数100万人を達成いたしました。これも日頃よりご利用いただいている皆さまのおかげです。ありがとうございます。旧都立日比谷図書館は関東大震災での倒壊や東京大空襲の焼失を経て、100年もの歴史ある施設でした。千代田区に移管され新たな施設として生まれ変わった日比谷図書文化館もこれからの100年に向かって歴史をつないでいけるよう、また皆さまにとって「知識の入口」となる施設となれるよう一歩一歩進んでいきたいと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

11/20 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス 『【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考―関係性が見える化からアイデアを創造する』

石橋 金徳 (慶應義塾大学SDM研究科特任教授)
富田 欣和 (慶應義塾大学SDM研究科非常勤講師)
麻生 陽平 (慶應義塾大学SDM研究科非常勤講師)

好評【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考」の第2弾を新テーマで実施。デザイン/システム思考になじみのない方にもわかりやすく、新規ビジネス提案から職場の人間関係構築まで、様々な場で役立つイノベティブ思考を学べます。ご友人同士、ワークショップ初心者の方も大歓迎です。※ワークショップ形式の講義です。(主催：イノベティブ・デザインLLC)



- 日時：11月20日(水) 19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：48名 ■ 参加費：3000円

11/22 (金) データベース講座 日経テレコン21の使い方を学ぶ(基本編)

講師：高橋 和敬 (千代田区立日比谷図書文化館 図書フロア)

当館で利用することができるオンラインデータベース日経テレコン21では、日本経済新聞や日経MJ、日経産業新聞の記事検索だけでなく、企業情報、人事情報、POS情報・売れ筋商品ランキングなどのビジネス情報も調べることができます。この日経テレコン21の基本的な使い方(記事検索の仕方、企業情報の探し方など)についてご案内します。

- 日時：11月22日(金) 19:00～20:00(18:30より受付)
- 会場：3階 ライブラリープラス ■ 定員：10名 ■ 参加費：無料

11/25 (月) 日比谷コトづくり塾〈第4回〉ジュニア向けまち(観光)ガイドをつくる 観光まちづくり、移住・定住まちづくりなど

「子ども目線」での地域活性化

コーディネーター：南 学 (神奈川大学人間科学部特任教授・日比谷コトづくり塾塾長)
パネラー：伊藤 善章 (株式会社 藤子・F・不二雄プロ代表取締役社長、川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム館長)、森 日出夫 (写真家)、小瀬村 寿美子 (厚木市こども未来部こども育成課課長)

“観光まちづくり、移住・定住まちづくりなど「子ども目線」での地域活性化”をテーマにパネルディスカッションを開催。パネラーには株式会社藤子・F・不二雄プロ代表取締役社長／川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム館長・伊藤善章氏他多才なゲストをお迎えし開催いたします。



- 日時：11月25日(月) 13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：5250円

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示

「近代日本を支えた江戸・明治の教養」 第1部「漢学の素養―内田嘉吉が求めた明治に伝わる江戸期の教養」

10月22日(火)～12月28日(土)

近代日本を切り拓いた人々は、西洋文明を受け入れながらも、漢学の素養にもとづく江戸期の教養を大切に継承していました。本企画では、特別研究室で所蔵する江戸～明治に発行された教養書を展示します。第1部では明治・大正期の官僚として活躍した内田嘉吉の蔵書から『群書類従』や『貞観政要』『論語』など江戸以来の教養書の数々を紹介いたします。

「特別研究室ナイトセミナー」が100回を迎えます

2011年11月の開館以来、毎週木曜日に開催している「特別研究室ナイトセミナー」は11月28日(木)、100回を迎えます。このセミナーは、特別研究室ナビゲーターが貴重な蔵書を紹介し、本をもとに議論して新たな発見を共有する、ワークショップ形式の蔵書探検セミナーです。特別研究室には熱心な好奇心を刺激される、珍しい本、興味深い本がたくさんあります。これからもさまざまなテーマで開催していきますので、ぜひご参加ください。



- お問い合わせ等は特別研究室 (03-3502-3340/内線429) までお願いいたします。

11/28 (木) 源氏物語、そのゆるぎなき表現(全3回) 第2回「源氏物語のユーモア」

講師：林 望 (作家・国文学者)

ゲスト：ロバート・キャンベル (東京大学大学院教授)

源氏物語というと、単純に「平安朝の雅なものかたり」とばかり思い込んでいる人が多いかもしれません。しかし実は源氏物語には、悲喜劇の様々な要素が過不足なく揃っています。この名作の「表現」に着目し、いくつかのテーマを設けて物語中の特に筆の冴えを見るべきところを抽出し、詳しく読んでいく全3回講座の第2回は、日本の笑いななどについて、深い研究をしてきた日本古典文学のスペシャリスト、ロバート・キャンベル氏をゲストとしてお招きし、源氏物語のユーモアという側面から林望氏と縦横に話し合っていたいただきます。(主催：上廣倫理財団)



- 日時：11月28日(木) 18:30～20:30(18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ちください。
- <第3回予告>
- 12月17日(火) 18:30～20:30「源氏物語のドラマ性」石山 智恵(フリーキャスター)

11/30 (土) 第4回 日比谷朗読サロン 紅葉の中で聴く文学

講師：こうばこの会
視覚に障がいを持つ方を中心としたトークパフォーマンスグループ「こうばこの会」による朗読会。作品は江國香織『デューク』、志賀直哉『小僧の神様』、佐江衆一『一会の雪』などを予定しています。

- 日時：11月30日(土) 14:00～16:00(13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：40名 ■ 参加費：無料

11/30 (土) 古書で紐解く近現代史セミナー 第4回 『群書類従』とその精神の継承―本の中身を伝えるということ―

①『群書類従』とその精神の継承

～塙保己一、江戸文化人と知のネットワークを構築～

講師：齊藤 幸一 (公益社団法人温故学會理事長)

② 内田嘉吉文庫に『群書類従』があることの意味

ナビゲーター：菅谷 彰 (千代田区立千代田図書館ゼネラルマネージャー)

古今東西の書物を多くの人を読めるよう、江戸期の偉人・塙保己一が編纂し、今日まで継承されている『群書類従』と来館者が自由に手に取って読めるように、閲覧に供している当館所蔵の内田嘉吉文庫。双方を手掛かりとして、「本の中身を伝える」ことをテーマに、講師とナビゲーターの二人がお話します。



- 日時：11月30日(土) 14:00～16:00(13:30より受付)
- 会場：地下3階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/4 (水) シリーズ「文化資源の愉しみ方」第1弾 『響夜学～経営と文化のいい関係を考える～』 第1回「文化を守るには」

講師：徳川 義崇 (徳川黎明会会長、徳川美術館館長、八雲産業代表取締役社長)

「響夜学(ひびやがく)～経営と文化のいい関係を考える～」では、「経済と文化」を両輪として活動している識者を招き、経済活動のなかで有機的に結びついた文化豊かな社会づくりをともに考えます。第1回は、尾張徳川家第22代当主である徳川義崇(とくがわよしたか)氏と、地域コミュニティの活動、とくに「祭り」を切り口にして、文化継承のあり方や次世代育成の方法論、文化を守っていくかたちをともに考えます。(主催：一般財団法人デジタル文化財創出機構、企画：連想出版)



- 日時：(12月4日(水)) 講演： 19:00～20:00(18:30より受付) 懇親会：20:15～21:15
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：40名 ■ 参加費：3000円(懇親会費用含む)